

# Kandai Style

2018.12 2019.1 Vol.472

関西大学通信

合併号



## 関大生の旅行事情



# 関大生の 旅行事情

今号の特集では、  
旅行の行き先や手配の方法、おいしかったもの、  
絶対に行ってほしい場所など、  
旅行にまつわるあれこれを紹介します。

## Question

- Q1 旅行先を教えてください。
- Q2 旅行期間はどのくらいですか？
- Q3 旅行の出発日からさかのぼって、旅行の手配はいつごろしましたか？
- Q4 旅行を手配する時に利用した、代理店やウェブサイトを教えてください。
- Q5 旅行はツアーで行きましたか？それとも、交通手段・ホテル等を個別手配しましたか？
- Q6 旅行にかかった費用はいくらくらいですか？
- Q7 旅行先で最もよく利用した交通手段は何ですか？
- Q8 ここは絶対に行ったほうが良い！観光スポットを教えてください。
- Q9 これは絶対食べてほしい！ご当地グルメを教えてください。
- Q10 旅行先で困ったこととトラブルがありましたか？また、その対処方法を教えてください。

- A1 北海道  
A2 3泊4日  
A3 2カ月前  
A4 じゃらんネット  
A5 個別手配  
A6 旅費▶¥33,500  
お小遣い▶¥10,500  
合計▶¥44,000



文学部 4年次生  
緒方 彰彦さん

- A7 鉄道  
A8 白い恋人パーク  
A9 函館で食べた海鮮丼

### A10 困ったこと・トラブル

旅行最終日に訪れた札幌が  
楽しすぎて、帰りの飛行機の  
出発時間に間に合わなくなりそうだった。

#### 対処方法

全力で走った。Googleマップの試算で徒歩21分か  
かる道のりを、10分前から走り出した。



旅行3日目 札幌駅に到着

- A1 ハワイ(オアフ島)  
A2 2週間  
A3 3週間前  
A4 アズウィック  
A5 個別手配(アズウィックに手配を依頼)  
A6 旅費▶¥400,000  
お小遣い▶¥50,000  
合計▶¥450,000



総合工学部 2年次生  
中村 留唯さん

- A7 バス  
A8 ハナウマベイ、ラニカイビーチ、ワイキキビーチ  
A9 Sunny Daysのアサイボーウル

### A10 困ったこと・トラブル

関西国際空港が、台風の浸水被害に  
遭い、帰国できなくなりそうだった。

#### 対処方法

航空会社のウェブサイトを確認後、  
アズウィックに連絡。中部国際空港セントレア行き  
の飛行機に変更し、近鉄電車で大阪まで戻った。



ワイキキビーチの夕日

- A1 名古屋  
A2 1泊2日  
A3 出発日の前日  
A4 高速バスネット、じゃらんネット  
A5 個別手配  
A6 旅費▶¥9,940  
お小遣い▶¥7,000  
合計▶¥16,940



文学部 3年次生  
松本 華織さん

- A7 鉄道  
A8 名古屋城の実物大金鯉模型  
A9 矢場とんのみそかつ、Café de Lyonのパフェ

### A10 困ったこと・トラブル

当初、香港に行く予定だったが、関西国際  
空港が台風の浸水被害に遭ったため、  
キャンセルせざるを得なかった。

#### 対処方法

気持ちを切り替えて、香港と一緒に行く予定だった  
友人と名古屋でのグルメ旅行を計画、手分けして  
手配した。



名古屋で食べたグルメ

- A1 鹿児島県・奄美大島  
A2 3泊4日  
A3 2カ月前  
A4 Booking.com、バニラ・エア  
A5 個別手配  
A6 旅費▶¥19,000  
お小遣い▶¥25,000  
合計▶¥44,000



システム理工学部 4年次生  
福山 晴都さん

- A7 バス  
A8 大浜海浜公園  
A9 鶏飯、ロウニンアジ

### A10 困ったこと・トラブル

現地の交通手段はバスを利用  
したが、1時間に1本しか走って  
いなかったため、スムーズな移動ができなかった。

#### 対処方法

バスが来ない時は、次の停留所まで  
ひたすら歩いた。



大浜海浜公園の夕日

- A1 韓国  
A2 3泊4日  
A3 2カ月前  
A4 HISのウェブサイト  
A5 個別手配  
A6 旅費▶¥35,000  
お小遣い▶¥50,000  
合計▶¥85,000



社会学部 3年次生  
春日井 優花さん

- A7 鉄道  
A8 ベンゴン、明洞  
A9 アンシム、ピヨットヨーグルト、  
JUICYのフレッシュジュース

### A10 困ったこと・トラブル

韓国へ向かう飛行機の出発時間が2時  
間遅れたため、旅行の計画が狂った。

#### 対処方法

旅行の計画を詰め込みすぎない。トラブルが起き  
ても、ニコニコして過ごすこと。



韓国で買ったジュース

- A1 石川県・福井県  
A2 1泊2日  
A3 1カ月前  
A4 JTB  
A5 個別手配(JTBに手配を依頼)  
A6 旅費▶¥40,000  
お小遣い▶¥15,000  
合計▶¥55,000



システム理工学部 2年次生  
稲田 裕介さん

- A7 レンタカー  
A8 Tree Picnic Adventure IKEDA、東尋坊  
A9 金沢黒カレー

### A10 困ったこと・トラブル

金沢まで鉄道で行くことにな  
っていたが、台風21号の  
接近に伴い鉄道の運休が決定。

#### 対処方法

急ぎょ、旅行日程を2泊3日から1泊2日に変更し、  
旅先での予定も変更した。



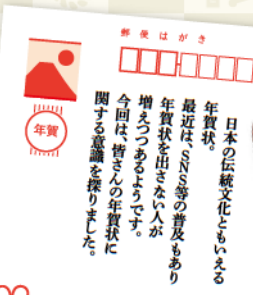
金沢の観光船



みんなで一緒に考えよう  
関大誌上教室

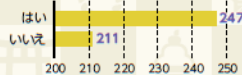
アンケート期間 10月15日～10月31日  
【対象】関大生 100名 【回答者】458人

# 年賀状のあれこれ



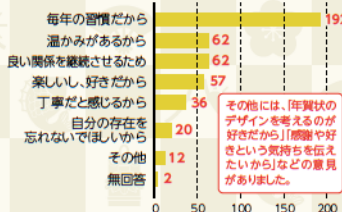
日本の伝統文化ともいえる年賀状。最近ではSNS等の普及もあり年賀状を出さない人が増えつつあるようです。今回は、皆さんの年賀状に関する意識を探りました。

## Q1 あなたは年賀状を出しますか。

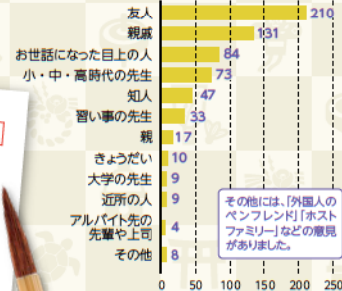


Q1で「はい」と答えた方にお聞きします。

## Q2 年賀状を出す理由は何ですか。(複数回答可)



## Q3 誰に年賀状を出しますか。(複数回答可)



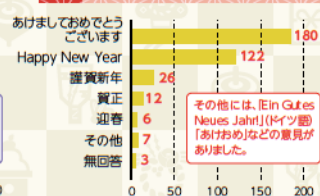
## Q4 毎年、何枚ぐらい年賀状を出しますか。



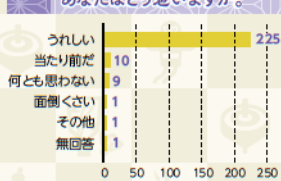
## Q5 目上の人に対して、新年のあいさつにはどんな言葉を使用しますか。(複数回答可)



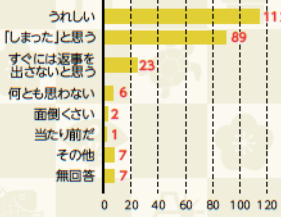
## Q6 友人や親しい人に対して、新年のあいさつにはどんな言葉を使用しますか。(複数回答可)



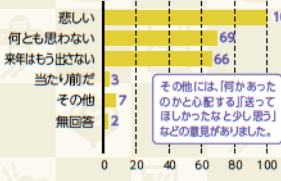
## Q7 年賀状を出した人から年賀状が届いたら、あなたはどのように思いますか。



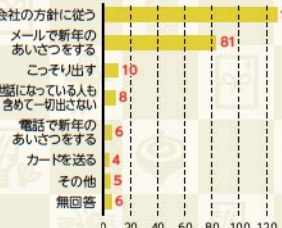
## Q8 年賀状を出していない人から年賀状が届いたら、あなたはどのように思いますか。



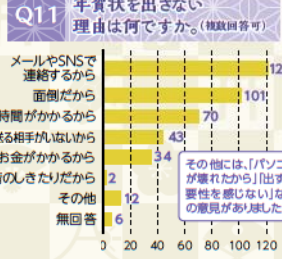
## Q9 年賀状を出した人から年賀状が届かなかったら、あなたはどのように思いますか。



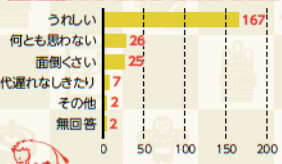
## Q10 卒業して、勤務先の会社が社員や関連会社に年賀状を出さない方針だった場合、あなたはどのようにしますか。



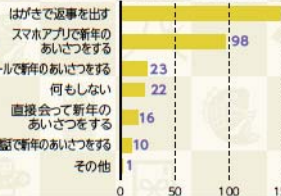
## Q11 年賀状を出さない理由は何ですか。(複数回答可)



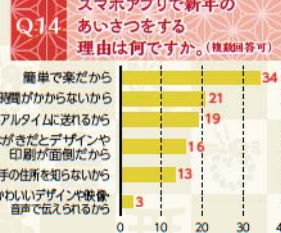
## Q12 自分宛てに年賀状が届いたら、どう思いますか。(複数回答可)



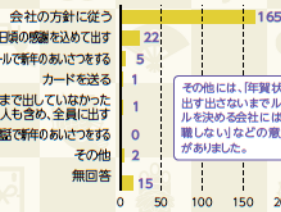
## Q13 自分宛てに年賀状が届いたら、その時あなたはどのようにしますか。(複数回答可)



## Q14 スマホアプリで新年のあいさつをする理由は何ですか。(複数回答可)



## Q15 卒業して、勤務先の会社が社員や関連会社に年賀状を出す方針だった場合、あなたはどのようにしますか。



### PROFESSOR'S COMMENTS

教育推進部 山本敏幸教授

今回の年賀状についての意識調査アンケートは、オンラインおびねびねベースの形式で行いました。アンケート結果から、18歳～22歳の年齢層の年賀状についての意識が、大まかに分かります。Q11、Q14の結果からは、年賀状が元日に届くようおめでとうの言葉をかけてもらうよりも、すぐ返信されることの方が優先されるように感じました。

という学生は50～60人程度でした。複数回答可のため正確なところは不明ですが、自身の存在について認められることが重要な点だと思えます。また、その反面、Q10、Q15からもよく、自身の判断ではなく周りの慣習や状況に合わせて行動しようとする意見も出ています。Q11、Q14の結果からは、年賀状が元日に届くようおめでとうの言葉をかけてもらうよりも、すぐ返信されることの方が優先されるように感じました。

年賀状を出す学生も出さない学生も、デジタル文化で培った慣習によって、SNSのように自身が発信した情報に反応が待つかどうかを年賀状にも求めているのではないのでしょうか。

### 次回のテーマは…「飲みニケーションは必要？ 不必要？」

社会人になると、誘いを受ける機会が増える飲み会。仕事関係者との飲み会は必要か不必要か、誘われたら参加するか断るかなど、アンケートを通して関大生の率直な意見を探ります。

12月・1月合併号「関大誌上教室」アンケートプレゼント当選者の発表について

今回の「関大誌上教室」アンケート「年賀状のあれこれ」にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。プレゼントの発表は、当選のみ、インフォメーションシステム「個人伝言」で確認します(12月7日)に通知予定。  
「関大誌上教室」アンケートは次回以降も行う予定ですので、ご協力よろしくお願いします。



サービス業／建築写真家



笹の倉舎 代表  
**笹倉 洋平さん**

淳心学院高等学校出身  
 2001年工学部卒業

**やりたいことに懸命に取り組み、  
 やり続ける。すると、やがて開花する。**

写真事務所「笹の倉舎」代表の笹倉洋平さんは、建築写真家として建築物を撮影しています。建築家や建築専門誌からの依頼を中心に、撮影業務を受託しています。

建築学科在学中は現代美術に没頭していました。大学卒業後は、アルバイトをしながら作品制作に励み、展覧会や個展で発表を続ける日々を送ります。「迷いや焦りばかりでしたが、作りたいものを作っていたので、すごく楽しくてやりがいがありました」と笹倉さん。

30代になる頃には、巨大なロール紙に植物のツタのつるを線で表現した作品などを制作。展示空間を含む全体を作品とし、観客がその場において体験できるインスタレーションという芸術作品に取り組みました。そこで空間を体感し、認識する力が身に付いたそうです。

ちょうどその頃、知人のカメラマンに偶然声を掛けられ、ハウスメーカーが建てた住宅を撮影するカメラマンの道に進むことに。建築雑誌などを見て勉強し、試行錯誤しながら2年間仕事を続けますが、類似した建築物の撮影が続くことに物足りなさを感じ始めます。かねて建築家が設計した建物を撮影したいと思い始めていた笹倉さんは、写真事務所を立ち上げ、デザインを重視する建築家の建築物を撮影するようになります。学生時代に同じ研究室に在籍していた同級生が、建築家として独立した時期と重なって撮影させてもらったり、知人の建築家を紹介してもらったりして仕事の幅が広がりました。「建築写真なら笹倉」と言われるように、すべての仕事に全力で取り組んだことが口コミで広がっていき、仕事も増えているそうです。最近はドローンによる撮影も行っていて、建築物の全貌を見ることができるようになったため、建築家に好評なのとか。

建築物の撮影は、自然環境に影響を受けるので、天候の変化で撮影スケジュールを変更することもしばしば。笹倉さんは「さまざまな条件やプレッシャーに悩みながらも、どうやって良い写真を撮ろうかとワクワクした気持ちで取り組んでいます。最高の1枚が撮れたときにはやりがいを感じます」と語ります。「建築学科に入学したことも、空間美術にのめり込んだことも、親の影響で写真が好きだったことも、建築写真家としての仕事にすべてが結実しました」と言います。「学生時代は、本当にやりたいことは何かを、立ち止まって考えても良いと思います。好きなことに挑戦してください。私が建築写真家として独立したのは30代ですが、何とかなるものです」と笑う笹倉さんは、現在、建築家と共に自邸の建築を計画中。「面白いことができれば、仕事につながります」と締めくくりました。

ある1日の  
 スケジュール

- 6:30 自宅を出発
- 8:30 現場に到着、撮影準備
- 9:00 撮影
- 15:00 休憩、  
 昼撮影写真の編集
- 17:30 夕景の撮影
- 18:30 撮影終了、フライト  
 と写真を確認
- 19:00 現場を撤収
- 21:00 帰宅



必須アイテムは、カメラと建築物撮影に欠かせないシフトレンズ、三脚。そしてドローン。

photographer



# VIVA!!

# 学び易



化学生命工学部 化学・物質工学科

## 「特別研究2」

古池哲也 教授

### 日々の研究や実験を通して、洞察力と問題解決力を養ってほしい。

研究技術を身に付けるだけでなく、社会でどのように生きていくべきか、そのすべを伝えています。

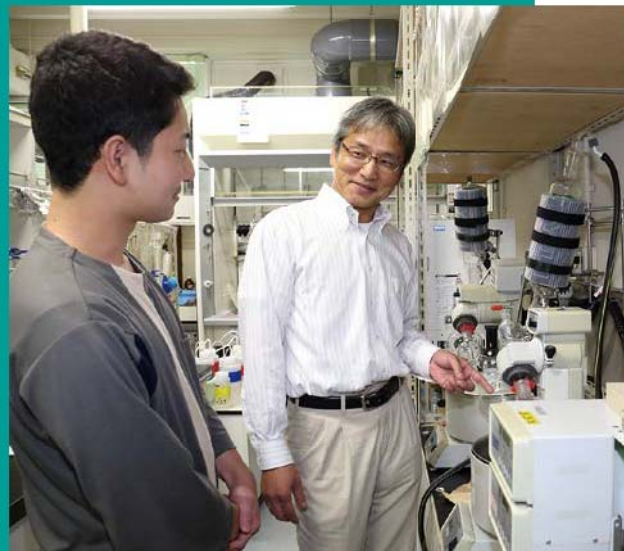
古池哲也教授が担当する「特別研究2」では、体内にある糖の構造や機能を理解し、相互作用に基づく高次の生命現象について学びます。現在研究室では、糖に関する「薬剤の生成」と「環境低負荷型の社会をつくる」という、2つのテーマで研究を進めています。

体内の糖は、細胞の表面に多く含まれ、普段は細胞の外との情報をやりとりする「情報物質」として有効に働いていますが、体内にウイルスなどの外敵が入り、異常な状態になった時、さまざまな疾患を引き起こすことがあります。ウイルスは、細胞の表面にある糖鎖を認識し、付着することで感染が始まります。つまり細胞表面の糖鎖を模倣した物質を合成すれば、ウイルスが間違えて認識し付着することが期待でき、それがウイルス感染の阻害剤となります。そこで、医薬品開発の基礎研究として、より効率的にウイルスが糖鎖として認識する阻害剤(薬剤)を作る研究を行っています。

学生たちは、まず各自でテーマを決定し、そのテーマに沿って実験を行います。毎週、研究室の学生全員が集まり、研究成果や失敗などを発表し、その原因を議論する研究報告会を行います。古池教授は、「実験では、薬品の反応をよく見ていないと思わぬところに落とし穴があります。しっかり観察しておかないと正常な数値は出てきません」と話し、学生たちに研究結果から得たものをしっかりと考え、同じ失敗を繰り返さないようにしてほしいと考えています。「研究を毎日やっていれば、それなりに上達はしていきます。ただ、大学生活が終わればその後は必ず社会に出ていかなければならない。私の研究室では、社会でどう生きていくべきか、その“すべ”を強く教えています」と古池教授は言います。続けて、社会で生きていくために「まずは洞察力を身に付けてほしい」と話します。

「研究室というコミュニティの中で、先輩や同級生など周囲の人が何をしているのかを観察することで、自分がどう対応していくべきかが分かります。そして日々の実験の積み重ねから、徹底して問題の原因を追究し解決する力を身に付けてください。そして、社会では先を読む人間になってほしいと思います。今後、さまざまな問題に直面したとき、まずは研究室で身に付けた洞察力で問題点を見出し、自分自身で問題を解決できる人になってほしい」と語ります。

「技術は日進月歩。コツコツと努力を積み重ねることが大切です。それが未来につながります。くじけず日々研究にこそしんでください」と学生の背を押してくれました。



#### 中山裕晶さん(4年次生)

薬学に興味があり、研究室ではHIVに対する新たな治療法を見つけるための研究をしています。大学院に進学後もこの研究を継続します。研究では集中力と粘り強さが身に付きました。学生同士、切磋琢磨しながら成長できるので、何かをやり遂げたい人は参加してください。



#### 宇都宮由貴さん(4年次生)

古池先生の人柄に引かれてゼミを選びました。希少な研究材料を一滴も無駄にしないように、細心の注意が必要な実験は得意なので向いていました。就職先は機械系の企業ですが、研究室で身に付けた、計画を立て実行し成果を検証する習慣を生かしていきます。



#### 化学生命工学部 古池哲也 教授

3年次生を対象に、研究室の見学会を開いています。学生に求める条件は、①実験が好きであること②向上心や積極性があること③時間を守れること④順応性があること⑤遊び心があることです。今いる先輩たちもそんな志を持った人ばかりですので、われこそはという学生の皆さん、ぜひ研究室に来てください。





# 関大アメフト部にフェアプレー専門コーチ誕生

## —全国初、OBの藤井さん—

今年8月、全国紙やスポーツ各紙が相次いで関大アメリカンフットボール部を大きく取り上げました。全国で初めて本格的な「フェアプレー専門コーチ」が誕生したからです。試合中の悪質な反則が取り沙汰された時期でもあり、全国の注目を集めました。



学生の対抗試合で審判を務める藤井さん

### 審判員と選手の違い

このコーチこそ、本学OBで、関大アメフト部を22年間指導している、藤井克章さんです。医療関係の大手企業で営業職をしながら、毎月10回前後、本学などのグラウンドで選手たちを指導しています。7月1日付で芝井敬司学長がフェアプレー専門コーチとして正式に委嘱しました。

藤井さんは学生時代から審判の仕事に興味を持っていました。きっかけはグアムチームとの親善試合で審判の仕事を手伝った経験です。選手なら試合中は自分のプレーを中心に体を動かしますが、審判は選手を間近で見ながらもゲーム全体の進行を念頭に置かねばならず、選手とは異なる視点で試合を見つめる仕事であることに気付いたのです。



ルールブックは結構分厚い

### ルールブックは256ページ

そこで卒業後は審判員の資格を取り、関大アメフト部のルール担当コーチとして後輩を指導するようになりました。ですから練習中もチームの戦術や個々の選手の動きを指導することはなく、部員のルール違反やその疑いのある行為について丁寧に説明しながら、フェアプレーの精神を育てています。

アメフトのルールは複雑で、ルールブックは256ページもあります。この本は全米大学体育協会が定めるルールを基準に毎年改正されており、選手がそのすべてを頭に入れるのは至難の業です。ここにフェアプレー専門コーチの値打ちがありそうです。

### 卒業してもフェアプレーを

もともとアメフトは一種の陣取りゲームです。反則をするとそのチームは最大15ヤード後退する罰則が科せられます。フィールドは長さ100ヤードですからこの後退は痛い。試合の流れを変させる可能性があり、反則をしないチームがその分、有利だとも言えます。

藤井さんの指導はアメフトに限らず「よろず相談」です。「人の気持ちを大事にしてプレーを」という姿勢は「人生でもフェアプレーを」につながります。例えば、就職活動について相談に来た学生には「相手企業にすり寄るようなことは言わなくても良い。自分の得意な分野に相手を誘い込むほうが、自分らしさをアピールできる。駄目な場合は縁がなかったと諦めて」という具合です。

「卒業してもフェアプレーを」と話す藤井さん(手前)▶







総合情報学部 3年次生

# 高谷 佳那さん

どんなことも自分の目で見て、耳で聞いて確かめたい。  
それが人とのつながりを大事にする原点。

東日本大震災の被災地で暮らす子どもたちに、夏休みの1週間を利用して心身ともにリフレッシュしてもらう取り組みが『たかつき保養キャンプ』です。高谷佳那さんは、その子どもチームのリーダーを3年間務めています。震災から7年がたった現在でも、被災地の場所によっては、子どもたちが外で思い切り遊べない所があるそうです。保養キャンプの活動では、安全面に気を配りながら子どもたちと一緒に遊んだり、参加する全ての人が居心地よく、楽しいと感じられる環境づくりを心掛けたりしているそうです。

『たかつき保養キャンプ』に参加を決めたきっかけは、高校時代に所属していた和太鼓部の活動でした。合同チャリティーコンサートに参加する中で、被災地の子どもたちが暮らす環境について知ったのだとか。それを機会に、被災地への関心が高まったと言います。

高谷さんは、高校2年時の被災地訪問で、現地の方と交流する機会が少なかったことが心残りだったため、高校3年時にチャリティー活動の実行委員長に立候補。しかし、現地と自分たちをつないでくれる人がいなかったため、「自分で何とかしなければ」という思いで、福島県双葉郡にある富岡町社会福祉協議会に自ら電話で連絡。「私たちの演奏で元気になってもらいたい」「仮設住宅で暮らす方々と交流したい」という思いを、熱く話したそうです。必死の思いが伝わり、「ぜひ来てほしい」という返事をもらいました。熱意が通じた瞬間でした。

その年の夏、和太鼓部のメンバー約70人による、福島県の被災地訪問が実現します。社会福祉協議会と何度も相談しながら実現させた仮設住宅の戸別訪問で、交流した高齢女性との出会いは高谷さんにとって運命的で、現在も、折に触れて訪ねているそうです。「私の本当のおばあちゃんみたい」というその女性は、高谷さんに故郷に帰りたくても帰れない、さまざまな思いを語りました。「東日本大震災があったことを、みんなに忘れてほしくない」という女性の言葉が、今も強く心に残っていると話す高谷さん。

現在は、被災地の現状について大学人権教育交流会で講演をしたり、母校の中学校や高校でスピーチをしたりするなど、情報発信にも力を入れています。話を聞いて「一緒に活動したい」と言う人も増えてきたそうです。「伝えられることを伝えていきたいですし、いつまでも人とのつながりを大切にして生きていきたい」。そんな思いを胸に、「たかつき保養キャンプは家族のようにあたたかい場所。参加したら、それを実感してもらえらると思うので、もっとたくさんの人に参加してほしい。これからも自分にできることは何かを問い続け、いろいろなことに挑戦し成長していきたい」ときらきらした表情で語りました。



保養キャンプに参加した女の子の誕生日にサプライズでフォトブックをプレゼントしている様子

次回は、高谷さんからのご紹介で國廣 明香さん(人3)が登場。お楽しみに！



# Kana Takaya



## 学部・研究科トピックス

### 法学部 / 法学研究科

努力して、自分のレベルアップを!

12月17日(月)・18日(火)は、研究論文の提出日です。法学部では、研究論文の単位(2単位)は、卒業のための必修ではありませんが、毎年度、200人以上の学生が研究論文を提出し、単位の認定を受けています。1月には、(秋学期試験)が実施されます。計画を立て、早い時期から試験対策の勉強を始めましょう。また、試験問題は落ち着いて解きましょう。答えを書くことに猛進して問題文を読まないで、なんてことはないように。皆さんの日々の努力の成果が発揮できるように心が願っています。

(副学部長 佐伯和也教授)

### 文学部 / 文学研究科 東アジア文化研究科

院生による学術交流と文化交流

9月13・14日、ローマ大学で院生フォーラムが開催され、ローマ大学、関西大学、関西大学の大学院生および教員約30人が参加し、英語による発表、討論を行いました。今年も3月の北京外大、8月の瀋陽南大、9月のローマと回を重ね、12月は本学で開催予定です。



(東アジア文化研究科 奥村佳代子教授)

### 経済学部 / 経済学研究科

卒業論文の季節

今年度は経済学部で必修となっている卒業論文の提出が12月となっています。卒業論文は在学中の勉強や研究の集大成であり、2年半の間にわたって履修してきたゼミ(経済学演習)の先生の指導の下で書き上げることになります。そのため、提出期限が迫るにつれ、ゼミの先生との真剣なやりとりが活発になり、卒業前の重要なイベントの一つとなっています。研究テーマと真剣に向き合って仕上げた卒業論文も学生時代の良い思い出になってくれると幸いです。

(学部長 野坂博南教授)

各学部・研究科のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

### 商学部 / 商学研究科

BestAで実践的ビジネス英語習得を

商学部独自の海外ビジネス英語プログラムBestAがヨーク大学(英国)で実施されました。4週間コースは8月上旬からの1カ月間、1学期コースは8月下旬から3カ月間、ビジネス英語を学びます。他国の学生との合同授業では日本語は一切禁止。英語だけの環境下でも自信がつかました。



(小井川広志教授)

### 社会学部 / 社会学研究科

在外研究先のドイツから帰国して

9月下旬に、在外研究先のドイツから帰国しました。今回の在外研究中に、研究会や国際カンファレンスなどの場で、ヨーロッパのさまざまな国の教育や福祉政策などを学ぶことができたほか、実際に多くの国を回って、国による文化や雰囲気の違いも知ることもできました。こうした情報や経験を基にしながら、私の授業では、学生の皆さんに「他の社会との比較を通して日本社会を理解・議論する」という機会を提供できればと考えています。ゼミや講義で皆さんと議論できるのを楽しみにしています。

(教学主任 赤松尚徳准教授)

### 政策創造学部 / ガバナンス研究科

履修証明プログラムの展開

ガバナンス研究科が4月から梅田キャンパスで開講中の社会人の「学び直しプログラム」(文部科学省・履修証明プログラム)も2学期目を迎えました。さまざまな実務経験とバックグラウンドを持つ受講生に教える楽しさを感じながらも、明確な問題意識の基、知的探求心を満たそうとする意欲に応えることによりやりがいも感じています。秋学期は、多様な外部講師陣による講義、ケーススタディーやフィールドワークを予定し、地域問題のより実践的な解決策を受講生と共に模索しています。

(副学部長 石田成則教授)

### 外国語学部 / 外国語教育研究科

スタディー・アブロード

年末年始のさまざまなイベントで心が沸き立つこの時期ですが、外国語学部ではひときわむ待ちにしていることがあります。SA(スタディー・アブロード)プログラムで9カ月間、海外のさまざまな国に留学していた2年次生の帰国がもうすぐなのです。私は今年兼任したばかりで2年次生の皆さんにはまだお会いしたことがないので、帰国報告会などのような経験談をお話ししてくれるのだろうと、出発を控えた1年次生の皆さんと共に今からワクワクしています。

(阿南順子教授)

### 人間健康学部 / 人間健康研究科

野外活動の経験

人間健康学部では、夏 semester 中講義として「野外活動特演」を開講しました。生活に必要な物資を調達しながら、表裏を確保し、数日間の共同・協働生活を行なった。普段の生活がどれほどスイッチで構成されているか、仲間や情報がどれほど貴重か、学生たちは身をもって体験したのだと思います。皆さんご存じの通り、今夏は巨大地震や台風が大阪を襲いましたが、ライフラインが止まり便利な日常生活から離れた際にも、当学生たちは野外活動での経験の基に、適切な判断で「行動」することができるでしょう。

(教学主任 谷所麗佳教授)

### 総合情報学部 / 総合情報学研究科

たかつき産業フェスタに参加

高槻商工会議所主催の「たかつき産業フェスタ」が12月22日(土)と23日(日)に高槻市立生涯学習センターにて開催されます。林と本学部の教員正樹教授が共同開発したAI(人工知能)を使った映像知識獲得システムを紹介し、体験ブースではスマフォ撮影から人の変顔を作成します。



(副学部長 林毅教授)

### 社会安全学部 / 社会安全研究科

社交×東南アジア

社会安全学部は、グローバルに活動しています。9月にはインドネシア、タイ、マレーシアの大学で学生向けセミナーを開催しました。また、10月にはインドネシア、台湾の大学から先生をお招きし、高槻キャンパスで学生向けセミナーを開催しました。詳細は学部ウェブサイトをご覧ください。

(学生主任 奥村与弘准教授)

### 専門職大学院トピックス

#### 法科大学院

関西エリア法科大学院合同企業説明会を開催

本法科大学院では、関西エリアの法科大学院在学生および修了生を対象に、関西学院大学および立命館大学の各法科大学院との共催にて「関西エリア法科大学院合同企業説明会」(9月28日)を開催しました。同説明会には、主に法務部門の採用活動をしている企業7社がブースを設け、事業内容および採用に関する説明を行いました。参加者からは、企業における法務部門の業務内容について具体的なイメージを持つことができ、また他大学の法科大学院生も説明会に参加しており良い刺激が得られたとの感想が寄せられました。今後も本法科大学院では、在学生および修了生の就職支援のためのさまざまな取り組みを行ってまいります。

(尾島史貴教授)

### 併設校トピックス

#### 関西大学第一中学校

第58回全国中学校水泳競技大会出場

7月の大阪中学校水泳競技大会で制限タイムを突破した6人が、8月17日～19日までの3日間、岡山県の見島トレーニングセンターで行われた全国大会に出場しました。連日の猛暑の中、選手たちは全力を尽くし、特に女子50m自由形は第3位、男子4×100mメドレーは第4位で帰りました。



(水泳部顧問 本岡隆二朗)

### システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部 / 理工学研究科

年末・年始は「安全第一」から

平成最後の12月を迎えました。4年次生の皆さんは、卒業論文の取りまとめに向けて、忙しい日々を過ごしていることでしょう。大学の勉強の集大成として、満足できる成果となることを期待しています。

就職活動を入れた3年次生の皆さんには、自身の適性を分析し、進路や仕事の分野を考える重要な時期です。大学での「履修の履歴」が重視されていることの報道もあります。1月の試験を迎えるこの時期、学業の充実も期待しています。

12月2日には、2年次の保護者を対象とした「キャリアプランニングセミナー」が開催されました。

た。保護者の方々と共に、卒業後の進路を念頭に置いて有意義な学生生活について考えてもらえれば幸いです。

卒業論文で忙しいこの時期、研究室の活動で最も気を付けてもらいたいことは、「安全第一」です。

12月3日(月)～8日(土)は、理工系3学部「安全衛生週間」です。教職員と学生が協力し、全研究室で一斉自主点検、事故防止啓発のための講習会が行われます。安全管理に対する意識をさらに高めてください。

(システム理工学部 入試主任 松本亮介教授)



2017年度キャリアプランニングセミナーの様子

## Attention 大学からの重要なお知らせ

試験対策をしっかりと立て、1年間を有意義な結果で締めくくります。

### 「定期試験(筆記試験)」「到達度の確認」の注意事項・受験心得

- ① 学生証は必需品!**  
学生証がない場合は、試験を受験できません。  
○紛失した場合は、再発行の申請を。  
○教務センター、または各キャンパス事務室にて。  
○試験当日に忘れた場合は、「受験者証」の発行を。  
教務センター、各学会授業支援ステーション、または各キャンパス事務室にて。
- ② 遅刻は厳禁!**  
授業も試験も遅刻は厳禁、受験できない場合もあります。また、交通機関の遅延など、不測の事態にも対応できるように、早めの通学を心がけてください。
- ③ 試験前の確認!**  
通常授業と試験が異なったため、同じ科目でも学番番号によって、教室が分かれている場合があります。  
○学番番号・氏名を記入するため、ボールペンは必須です。(ただし、消せるボールペンは不可です)  
○携帯電話・スマートフォン、ウェアラブルデバイス等は試験時に使用できません。
- ④ 不正行為には厳正に対処します!**  
不正行為をした場合は、教学期試験ですでに受験した科目は全て無効となり、残りの科目も一切受験できません。また、苦情の持ち帰り、故意に学番番号・氏名を偽った場合も不正行為と見なされます。
- ⑤ 病気など正当な理由で受験できない場合は……**  
医師の診断書など明細がある場合は、「定期試験」開講直前の「相当する学号確認」を受け取ることができず(1科目につき、受験料1,000円)。  
試験センター、または各キャンパス事務室で手続きしてください。
- ⑥ 成績発表の日時・確認方法**  
インフォメーションシステムで発表します。  
[詳細は「試験システム」で確認してください]



# 関大トピックス

## 関西大学協賛 「第8回大阪マラソン2018」を開催

11月25日に「第8回大阪マラソン2018」が開催されました。第1回大会からオフィシャルスポンサーとして大会運営に協力している本学からは、40人のランナーが参加。今年新調したオリジナルウェアを着用し、大阪の街を駆け巡りました。

また、給水活動をはじめ、チャリティ募金、英語・中国語での語学対応、清掃活動や歩道橋での自転車運搬補助など、約700人の学生・生徒と教職員がボランティアとして参加しました。コースの沿道では関西大学応援団や学生団体のJAZZ研究会、ダブルダッチサークル「Mix Package」、フラダンスサークル「coco girl」、NPO法人関西大学カイザーズクラブのキッズチアが「ランナー盛上げ隊1」として、素晴らしい応援パフォーマンスを繰り広げ、大会を盛り上げました。



## 「広告会社キーパーソンによる パネルディスカッション」を開催

梅田キャンパス「KANDAI Me RISE」で11月16日、「広告会社キーパーソンによるパネルディスカッション」を開催しました。本イベントは、大手広告会社3社および本学OB・OG組織の協力・支援を得て、学生の進路選択や幅広い社会的見識の向上に資することを目的とするものです。

インターネットの急速な普及とデジタル化、市場のグローバル化により、環境の変化がめまぐるしい広告の世界。その第一線で活躍するパネリストらが、普段の取り組みや新たな挑戦を紹介しながら、「広告の未来」について熱い議論を繰り広げました。集まった約120人の学生らは真剣な様子で耳を傾けました。



## 体育会馬術部の中村大樹さんが 全日本学生賞典障害飛越競技大会で優勝

11月4日、山梨県馬術競技場で行われた第68回全日本学生賞典障害飛越競技大会において、個人の部で体育会馬術部の中村大樹さん(総情3)・カリエーレ組が優勝しました。ジャンプオフと呼ばれる4組による優勝決定戦では、中村さんは1つの障害を落とすことなく丁寧にまとめ、ノーミスの馬術に観客からは拍手が送られました。中村さん



写真提供：関大スポーツ編集部

んは「ジャンプオフでは自分の馬術をやりきったので、あとは結果を信じて待つだけだった。優勝できてとてもうれしい。来年はチームを引っ張っていけたら」と優勝の喜びを語りました。

## 第52回少林寺拳法全日本学生大会で 体育会少林寺拳法部の伊藤駿亮さんが優勝、 高瀬宣男さんが準優勝

11月4日、東京都・日本武道館で行われた第52回少林寺拳法全日本学生大会において、立合評価法男子重量級の部で体育会少林寺拳法部の伊藤駿亮さん(シス理4)が優勝し2連覇を達成しました。また、高瀬宣男さん(社4)が準優勝を収めました。さらに、立合評価法男子団体で本学が優勝を果たし、立合評価法女子軽量級の部では、昨年度優勝の芳村友香さん(人4)が3位に入賞しました。伊藤さんは、「引退試合である今大会を、優勝で締めくくることができてうれしい。後輩には自分を超えてもらえたらうれしいと思う、それができると思う」と優勝の喜びを語るとともに、部のさらなる飛躍を目指す後輩らにバトンを渡しました。



写真提供：関大スポーツ編集部

## 関大人

よちやまばなし

## 四方山話 ◆「学生の成長に驚く日々」経済学部教授 古賀 款久



私のゼミに応募してくる学生の大半は、控えめでおとなしい学生である。ゼミに入った2年次の秋学期には、自己紹介をさせても、数秒程度話すことが精一杯であることが多い。そのような学生でも、就職活動を迎える3年次の秋学期末には、自身のこと、自身の考えを、流ちょうに話すことができるようになる。先日、3年次生の学生たちに、1年次生の授業に対するTAを依頼した。依頼した学生たちも、ゼミに入った当初は、どこか自信がなさそうで、ゼミ

でも居心地が悪そうだった。そんな彼らが、一年後には、教員も驚くような堂々としたスピーチをするまでに成長した。これらのエピソードは、私の指導方法が良いと自慢しているのでは決していない。実際、私自身は、50歳を過ぎた今でさえ、人前で話すことが苦手である。そんな私とよく似た学生たちは、しかし、1年間で驚くほど成長する。私自身ができなかったことをいとも簡単にやってのける学生たちがまぶしく見えることが少なくない。

## 編集後記

建築・都市の研究を始める前から、沢木耕太郎の『深夜特急』(新潮社)に魅せられ、旅が好きでした。旅先でたくさんの方と出会い、連絡先を交換し、はがきのやりとりが続きましたが、あれから四半世紀、思い出だけが記憶されています。今の大学生の旅はだいぶ変わったと特集を読んで思う一方、数年前ハノイで出くわしたのは変わらずリュックを背負う欧米の若者の姿でした。旅に目的はなく旅することが目的で一人が寂しくなかった私も、今では旅に目的があり一人では寂しくて仕方ない旅をしている一人かもしれません。(広報委員・環境都市工学部教授 木下光)



## 関西大学通信 “KANDAI STYLE”

発行日:2018年12月7日  
発行:関西大学広報委員会  
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35  
電話:06-6368-1121(大代表)

## 今月の表紙



作者:文化会美術部 安井 智香さん(文1)  
作品名:「芸術の秋」 テーマ:切磋琢磨

美術部のアトリエで、部員それぞれが自分の作品に熱中して制作している様子を描きました。みんなすごく真剣な表情で取り組んでいます。冬の展覧会に向けて、自分の納得のいく作品が制作できるように地道にがんばります!